



今年の8月夏季休暇

本年もいよいよ夏本番の8月を迎えました。7月は早々に梅雨明けとなりましたが、その後梅雨時期を思わせる天候が続きました。7月最終週は比較的晴れの日が続き、真夏の暑さを感じる日々となりました。8月も気温の高い猛暑が続くように思いますが、社員皆様には熱中症対策を心がけて頂き、引き続きのコロナ予防も並行して体調管理の方をお願い出来ればと思います。

8月は夏季休暇があり、家族と一緒に過ごしたり実家に戻られたりと、自分時間を有効に使える時期でもあります。趣味に没頭したり一日中ゆっくり過ごしたりと、それぞれが好きな時間を過ごせる時期ではと感じます。ただ、ここ数年はコロナの影響でなかなか自分時間をゆっくり過ごすことが出来ていないのではと思います。今年も先月中旬ごろから感染拡大傾向が続き、今月に入ってもその傾向は収まりそうにありません。行動規制は発動されないような感じではありますが、それぞれがコロナの予防周知を継続し『感染しない・感染させない』との自覚で、この夏季休暇も過ごすことになるのではと感じております。なかなか落ち着いて生活する夏季休暇とはならないかもしれませんが、それぞれが感染予防や熱中症対策を講じて、有意義なお休みとして頂けたらと思います。

暑さが厳しい月になるかと思いますが、事故などに注意し健康管理を保ちながら一ヶ月間どうぞよろしくお願い致します。

社長 太田 聡
編集担当：島

ハラスメントは許しません！！

アポロ電気はハラスメント対策を継続して行っていきます。今回はハラスメントの種類の中から3種類を説明したいと思います。

セクハラとは？

(セクシュアルハラスメント)

例えば…

- 性的な冗談、からかい質問
- わいせつ画面の閲覧、配付、掲示
- 性的な内容の噂を意図的に流す
- 体への不必要な接触
- 食事やデートにしつこく誘う
- 交際、性的な関係な強要
- 性的な言動を拒否した社員を辞めさせる

* 被害者の性的指向又は性自認にかかわらず、性的な言動であればセクハラに該当します。

マタハラとは？

(妊娠・出産・育児休業等に関するハラスメント)

例えば…

- 上司に妊娠を報告したら「他の人を雇うので辞めてもらう」と言われた
- 育休の取得について上司に相談したら「男のくせにありえない」と言われた
- 育児短時間勤務をしていたら、同僚から「まわりは迷惑している」と何度も言われ、精神的に苦痛を感じている

パワハラとは？

(パワーハラスメント)

例えば…

- 物を投げつけられ、身体に当たった
- 同僚の前で、上司から無能扱いする言葉を受けた
- 先輩・上司に挨拶しても、無視され、挨拶してくれない
- 一人ではできない量の仕事を押しつけられる
- 他の部署に異動させられ、仕事を何も与えられない



ハラスメントをしたことが確認された場合は、就業規則に基づき、懲戒処分の対象となる場合があります。

ホームページリニューアル

この度、約10年ぶりにアポロ電気のホームページをフルリニューアルしました。デザインを一新するとともに、レスポンシブデザインに対応しました。

レスポンシブデザインとは、ユーザーが使用するPCやスマートフォン、タブレットなどの画面サイズに合わせて、自動で最適化させるデザインを指します。たとえば、ユーザーがPCからアクセスする場合はPCの画面サイズに最適化され、スマートフォンからのアクセスならスマートフォンの画面サイズに最適化されたデザインが表示されます。レスポンシブデザインは、ユーザーが使用するどんな端末からも見やすいような、Webページのデザインです。

下記のQRコードもしくはURLから、フルリニューアルしたアポロ電気のホームページを是非一度ご確認ください。



▲PCからの表示イメージ



▲スマートフォンからの表示イメージ



<https://www.apollo-elec.co.jp/>

編集担当：島

宮城まり子さんのねむの木村への想いに学ぶ

先月号で、「宮城さんが目指したものは、障害のある人もない人も区別なく、まじりあう社会でした。そして子供たちの感受性を育み絵や歌、ダンスで表現させることでした。」というまとめがありました。

今月号は、それらを実現する為に宮城まり子さんが設立した「ねむの木村」についてご紹介いたします。

まず、1968年に私財を投じて静岡県浜岡町(現御前崎市)に肢体不自由児養護施設「ねむの木学園」を設立しました。その後1997年、健康な人も障がいをもつ人も互いに助け合いながら共に生活できる福祉・教育の村を目指して、静岡県掛川市に「ねむの木村」を開村しました。

ねむの木学園の教育方針のひとつとして、絵画・音楽・ダンス・詩・作文・茶道・工芸など感性を育てることを重視した教育を行っています。

ねむの木村は、ねむの木学園の周辺に、吉行淳之介文学館・ねむの木子ども美術館・こどもたちの実習室としての喫茶店・糸屋・ガラス屋・雑貨屋などがあり、ひとつの村の中でその感性を育みながら、交流できるようになっています。

宮城さんは法律や制度が無いということを出発点にせず、無い中から養護施設をつくりました。官邸に電話し総理大臣に直談判したこともあったようです。「健康な人も、そうでない人も集まれる場所をつくりたい」と夢を持ち続け、90歳になった頃にも公園の建設を計画されていました。また、その頃は車椅子生活になり横になることも多くなっていましたが、子供たちと過ごし寄り添っていらしたそうです。

この行動力と信念は、どの世界でも通じる考え方だと思います。我々も信念を持って行動することの大切さを宮城まり子さんの生き方から学びました。

編集担当：伊藤

編集担当より

厚生労働省は7月22日、新型コロナウイルスの流行「第7波」での感染者急増を受け、感染者の濃厚接触者に求める自宅などでの待機期間を現行の原則7日間から5日間に短縮すると発表しました。

また、感染者と最後に接触した日を0日目とした時に、2日目と3日目の2日連続で検査結果が陰性であれば最短3日目での解除も可能です。新基準は7月22日から適用され、全ての濃厚接触者が対象となります。

率直なご意見・ご感想をお待ちしております。
general@apollo-elec.co.jp

発行  アポロ電気株式会社

〒438-0004

静岡県磐田市勾坂中1600-11 磐田さぎさか工業団地

TEL:0538-38-2228 FAX:0538-38-2898

URL:http://www.apollo-elec.co.jp

編集担当：管理室

発行日 令和4年8月1日